

一 般 質 問 通 告 書

平成27年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1野村広志	1 地方創生について	(1) 国に示す地方創生について、市長の見解を問う。 (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像と、目指すべき方向性について問う。 (3) 定住自立圏構想（鹿屋・都城）の現状と総合戦略との関係性について問う。 (4) 「シシガーデン」の地方創生における関わり方と、今後の展望について問う。	市長 市長 市長 市長
	2 農業振興について	(1) 現在の茶業を取り巻く環境の中、シアトルへのトップセールスを行ったが、今後の見通しについて問う。 (2) 志布志港を活用しての、農産物輸出の現状と課題、また、今後の方針について問う。	市長 市長
2小野広嗣	1 地方創生に向けた取り組みについて	(1) 昨年12月、日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（長期ビジョン）」及びこれを実現するため、今後5か年の目標や施策、基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合戦略）」がとりまとめられ、閣議決定された。こうした国の長期ビジョン、今後の総合戦略について市長の見解を問う。 (2) 2014年度補正予算は、景気回復の流れを家計、中小企業、地方に届けるための経済対策を柱とする。補正予算の目玉として、地域の消費喚起や地方創生のために自治体が各地の事情に応じて使える交付金が創設されたが、本市ではどのように活用するのか。 (3) 「総合戦略」ではその基本目標として、①地方での安定した雇用の創出、②人の流れの転換、③若者の結婚・出産・子育てに対する希望の実現、④時代に合った地域づくりの四つを柱に掲げているが、これらをつまえた我がまちの「地方版総合戦略」策定の方向性について問う。	市長 市長 市長
	2 マイナンバー制度について	(1) 明年1月からスタートする、マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の導入に向け、市としては今後どのように取り組むのか。	市長
	3 教育行政について	(1) 教育委員会制度を見直す「地方教育行政法」が改正され本年4月に施行される。この改正は戦後の教育行政の大きな転換になるとも言われているが、教育委員会制度改革に対する認識と今後の対応について問う。 (2) 施政方針では、豊かな心の育成を図る一環として、不登校や問題行動等の早期発見・早期対応に努め、仮称「いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ問題にも取り組むとあるが、教育相談体制における現状と課題について問う。	市長 教育委員長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 青山浩二	1 市職員採用試験について	(1) 市職員採用試験の現状について問う。 (2) 試験区分、受験資格の考え方を問う。	市 長 市 長
	2 いじめの未然防止や早期発見について	(1) いじめ防止対策推進法の規定に基づき、本市でも「志布志市いじめ問題対策連絡協議会」等が設置されるが、会の果たすべき役割について問う。	市 長 教育委員長
4 小辻一海	1 施政方針について	(1) 本田市政の過去の施策の評価・検証結果をもとに、志布志市振興計画の「7つのまちづくり方針」の施策実現に向けた取り組みについて考えを問う。	市 長
	2 行財政改革について	(1) 財政状況と財政計画について。 (2) 事務事業の見直しについて。 (3) 補助事業の見直しについて。	市 長 市 長 市 長
5 平野栄作	1 教育行政について	(1) 小中学校における区域を越えた入学の現状及び考え方について。 (2) 地域間交流の推進にあたって、阻害要因も発生すると考えられるが見解を示せ。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 福祉行政について	(1) 民生委員の選出の在り方と今後の方向性を問う。 (2) 食の自立支援事業・配食支援事業の現状と今後の方向性を示せ。	市 長 市 長
	3 地方創生への取り組みについて	(1) 事業を推進していく中で、市民への情報提供や事業内容の普及啓発が喫緊の課題であると考えますが、どのような取り組みで進めていくのか。 (2) 既存の団体（校区公民館・ふるさとづくり委員会等）はこれまで地域活性化に向けての取り組みを続けてきているが、地方創生に向けて各種団体も今後更に行政と一緒に事業を展開することで相乗効果が図られると思う。活動に対する支援策等の考えはあるのかを問う。 (3) 交流活動を活性化するためには、校区単位だけではなく地区単位での事業等も検討していくべきではないか。	市 長 市 長 教育委員長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6八代 誠	1 施政方針について	(1) 環境行政の推進について。 ① 「水循環基本法」に基づく、本市における地下水採取に対する規制の見直しについて問う。 ② 本市の湧水に含まれる「硝酸性窒素」の主な要因として考えられるものは何か。また、それを減少させるための取り組みについて問う。	市 長
		(2) 茶業振興について。 ① 販路拡大のためのトップセールス（渡米）の効果と今後の見込みについて問う。 ② 国内外需要者の品質に関するニーズ差に関しての今後の取り組みについて問う。	市 長
		(3) 畑地かんがいの振興について。 ① 各地域（曾於東部、曾於南部、第三曾於南部）の接続率及び水量の確保について問う。 ② 散水装置、省力機械などの導入にともなう、本市の支援事業について問う。 ③ 農道及び排水施設の未整備箇所の現状と今後の取り組みについて問う。	市 長
		(4) 林業の振興について。 ① 志布志港から海外輸出される年間材木量の推移と海外輸出されないA材の国内需要の割合とそれぞれの現時点での単価及び今後の見直しについて問う。 ② 皆伐された後の再生林を推進するための本市が取り組んでいる事業と今後の取り組みについて問う。	市 長
		(5) 教育行政について。 ① 「確かな学力の定着に向けた検討委員会」の現状及び今後の進め方について問う。 ② 今年10月から開始される「土曜授業」の実施方法について問う。	市 長 教育委員長 教育委員長
7市ヶ谷 孝	1 道路行政について	(1) 県道523号（志布志有明線）の野神小学校前の区間における、登下校時の安全に配慮した道路環境整備に対する今後の取り組みについて問う。	市 長
8鶴迫京子	1 平成26年12月定例会・一般質問の進捗状況について	(1) 志布志高校の生徒確保のための支援策について。 (2) 子ども短期入所生活支援事業（ショートステイ）の導入について。	市 長 教育委員長 市 長
	2 商工・観光振興について	(1) 志布志地区商店街活性化の取り組みについて問う。	市 長
	3 施政方針について（水産業振興）	(1) 生産的な漁業活動に向けた今後の取り組みについて問う。	市 長

一般質問通告書

平成27年3月定例会(No. 4)

質問者	件名	要旨	質問の相手方
9小園義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎問題について1月に研修し、在り方検討委員会の立ち上げ等議論するとの答弁であったが、対応を問う。	市長
	2 施政方針について	(1) 志布志市地方創生推進本部について述べているが、今後の具体的な取り組みについて問う。 (人口の現状や将来の見通し)	市長
	3 介護保険について	(1) 第6期の計画について問う。 (2) 法定外繰入れをして住民の負担を軽減する考えはな いか。	市長 市長
	4 健康増進法について	(1) 受動喫煙防止の取り組みについて問う。	市長
	5 学校教育について	(1) 不登校の児童の現状と認識を問う。 (2) 解消のために具体的な取り組みをどう対応されてい るか。	市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 観光振興について	(1) 観光振興に対する、取り組みの現状と課題について問う。 (2) 地域おこし協力隊の、観光振興における位置付けについて問う。 (3) 志布志港を多面的に活用した、観光・漁業・商工業振興について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 住宅政策について	(1) 住宅政策の現状と、今後の方向性について問う。 (2) 空き家の現状と、その対策について示せ。 (3) 空き家の再生推進事業について。 ① 地域おこし空き家再生支援制度について問う。 ② 空き家再生を自治会の再生につなげていく考え方はないか問う。	市 長 市 長 市 長
2 西江園 明	1 ふるさと納税について	(1) 今回本格的に始めようとした動機を問う。 (2) 市内への経済効果の見込みを問う。 (3) 他自治体を研修し参考にしたのか。 (4) 1万円以上寄付した人を対象とした理由を問う。 (5) お礼に特産品約40種類とあるが、このメニューの決定の経緯を問う。 (6) 手続き、クレジット決済について問う。 (7) 広報の方法と職員の対応について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
	2 どんぶり選手権について	(1) これに参加する目的を問う。 (2) 過去3カ年のメニューと成績を問う。 (3) その経費の総額と内訳を問う。 (4) 費用対効果と今後の展開を問う。 (5) 既存商店への対策は適正か。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
3 岩根賢二	1 保健医療行政について	(1) 5月27日に医療保険改革法が成立した。これを受けて、本市では医療費削減に向けてどのように取り組む考えか。 (2) 医療機関で1年間1回も受診しなかった世帯に対して、何らかの報奨をする考えはないか。	市 長 市 長
	2 観光行政について	(1) 市のPRと来訪者増にもつなげるフォトコンテストを開催する考えはないか。 (2) 志布志駅の改築計画に併せて、JR日南線のさらなる利用促進をどのように図っていくのか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 平野 栄作	1 補助団体の経営状況の把握及び指導の在り方について	(1) 福祉関連の補助団体として位置付けられる団体がどの程度あるのか。 (2) 経営状況及び事業効果・課題等をどの程度把握しているのか。 (3) 指導・助言及び時代の変化に即した運営の改善等どのように行ってきたのか。 (4) 円滑な運営及びその効果、活性化の促進と市政の効率的運営を図る為には、評価制度や指導調整機能が必要と思うが、今後取り組む考えはないのか。	市長 市長 市長 市長
	2 教育行政について	(1) 市においては、青少年育成市民会議活動を通じて、地域ぐるみでの青少年健全育成を実施している。 近年、青少年育成校区民会議（今年度から、キラリ輝く「しゅしっ子」育成事業）で開催する行事に参加する児童が、ボランティアカードを持参するケースが多くなった。 企画者側からみると、参加してもらえることはありがたいが、ボランティア参加として捉えることが適当なのか疑問に思える。 ボランティアカードの活用について見解を問う。	教育委員長
	3 学校施設の愛校作業に伴う刈り草等の処分について	(1) 小・中学校における敷地内の環境整備は、学校・PTA・地域等により実施されているところである。 作業実施後に発生する、多量の刈り草等の搬出に頭を悩ませている現状がある。搬出に、ごみ収集車（パッカー車）を市で提供する考えはないか。	市長 教育委員長
5 小野 広嗣	1 認知症対策について	(1) 政府は本年1月、認知症の人への支援を強化する、「認知症施策推進総合戦略」を決め、基本的理念として「認知症の人の意志が尊重され、住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現」を掲げているが、本市の認知症対策の推進状況と今後の取り組みはどうなっているのか。	市長
	2 特定健診について	(1) 生活習慣病の予防、早期発見を目指す厚生労働省の特定健診・特定保健指導は、スタートから5年を経て2期目に入ったが、本市の今後の課題と受診率向上に向けた取り組みについて示せ。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小野広嗣	3 ICTの利活用について	(1) 行政機関が保有する地理空間情報、防災・減災情報、調達情報、統計情報などの公共データを、利用しやすい形で公開する、オープンデータの展開については、今後どう取り組むのか。 (2) 授業にICTを取り入れ、学ぶ意欲や理解度を高めようと、小・中学生に授業用のタブレット(多機能携帯端末)を配布する自治体が増え始めているが、本市においても導入を図るべきではないか。	市 長 市 長 教育委員長
	4 社会保障に関する教育について	(1) 社会保障に関する学習は、子どもの将来の生活に関わる重要な教育の一環であると思うが、中学校ではこのことについてどのように取り組んでいるのか。	教育委員長
6 青山浩二	1 人口減少対策の取り組みについて	(1) 若者の流出防止策について問う。 (2) 就労の場の確保に向けた取り組みについて問う。 (3) 将来的(中・長期的)な、人口の目標「人口ビジョン」について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 教育行政について	(1) 学校と地域の連携(コミュニティ・スクール)について問う。	市 長 教育委員長
7 八代 誠	1 教育振興策について	(1) 市内の公立・私立高等学校の通学に対する支援策等と、市内在住の高校生に対する支援策について問う。	市 長 教育委員長
	2 自治会の在り方について	(1) 過疎化及び少子高齢化に伴い運営が大変厳しいとされる、市内自治会の現状と今後の支援策について問う。	市 長
8 丸山 一	1 防災について	(1) 災害に強い街づくりを問う。 ① 上通山～押切西～菱田川への既存排水路の増設について考えられないか。 ② 旧南部消防署跡地前から一丁田方面への線路跡地の排水対策について問う。 ③ 市道一丁田・宇都鼻線の肆部合地区内の排水対策について問う。 ④ 市内沿岸地域に避難タワーを設置する考えはないか。	市 長
9 市ヶ谷 孝	1 道路行政について	(1) 市内の県道・市道における管理体制について問う。 ① 市道の総合的な管理体制について問う。 ② 県道の改善要求への対応について問う。 ③ 各自治会の市道等伐採清掃の在り方について問う。 ④ 道路の維持管理にかかる費用の妥当性について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9市ヶ谷 孝	2 選挙について	(1) 選挙における投票率低下への対策について問う。	市 長 教育委員長
	3 空き家対策について	(1) 空き家等対策の推進に関する特別措置法の完全施行を受け、市の今後の空き家対策への影響と推進計画について問う。	市 長
10鶴迫京子	1 健康増進について	(1) 国の医療保険改革法が5月に成立し、予防や健康づくりに積極的に取り組む自治体には新たに財政支援を強化し、医療の効率化を目指すことになった。2016年度以降、自治体などが主催する健康教室への参加者らにポイントを付与する仕組みの拡充を関連法に明確化する等、健康づくりを後押しする。このことを踏まえて今後、健康増進を市民運動に発展させるための施策をどう考えるか。	市 長
		(2) 若者や中高年など、現役世代に向けた健康づくりの施策をどう考えるか。	市 長
		(3) 本市は健康づくり日本一を目指しているが、老化を遅らせ、病気の予防を目指す抗加齢医学（アンチエイジング）に取り組む施設を造る考えはないか。	市 長
	2 都市公園（市営墓地）の管理について	(1) 市営墓地の管理について、現状と今後の考え方を問う。	市 長
11小園義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎在り方検討委員会の取り組みについて問う。	市 長
	2 志布志事件の判決について	(1) 志布志事件のたたき割り国家賠償請求事件と無罪国家賠償請求事件について、5月15日に判決が出された。この判決をどの様に受け止めたか。	市 長 教育委員長
	3 国民共通番号制度（マイナンバー）について	(1) 10月から番号通知、来年1月から利用を始めるとして計画されているが、具体的な内容と本市の取り組みについて問う。	市 長
	4 国民健康保険について	(1) 国保会計の現状と見通しについて問う。 (2) 財政運営の主体を県にすることで今後の状況はどうなると考えるか。	市 長 市 長
	5 生活保護制度について	(1) 保護基準が引き下げられたことで、本市にはどのような影響が出ているのか。 (2) 生活保護法の改正で、申請の在り方等これまでとどう変わったのか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 志布志駅舎の整備計画について	(1) JR志布志駅舎については、志布志市における情報発信拠点施設として、市の顔となるような施設・観光客のおもてなしと市民が交流できる場となるように、長期的展望に立ち整備したいとのことだったが、いまだにその後の整備計画が議会に示されていないが、どうなっているのか。	市 長
	2 職員の資質向上について	(1) 地方創生元年が喧伝され、自治体間競争が激化する中、時代の要請に即応できる人材の育成が急務である。研修制度などの充実をはじめとした人材育成の推進について、考え方を問う。	市 長
	3 日常生活用具給付事業について	(1) 日常生活の便宜を図るため、障がいの種別や程度に応じて日常生活用具が給付されている。国が示している例示品目のほか、障がいのある方々の地域生活における様々なニーズに対応するために市町村独自に用具品目の追加や対象の拡大が行われている。本市では、地域ニーズの掘り起こしや今後の対象品目の追加検討等はどのように考えているのか。	市 長
	4 子どもの貧困対策について	(1) 政府は昨年1月、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を成立させ、8月には対策に必要な施策をまとめた「子供の貧困対策大綱」を閣議決定した。この一連の国の動きについて、市長の認識を示せ。	市 長 教育委員長
	5 投票率向上対策事業について	(1) 選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立したことを受け、本市でも投票率の底上げに向けて「投票率向上対策事業」が今定例会に提案されているが、これまでの課題と、今後の具体的な取り組みについて示せ。また、教育現場における主権者教育の現状について示せ。	市 長 教育委員長
	6 交通安全対策について	(1) 6月1日の道路交通法の改正に伴う、信号無視や一時不停止などの危険行為を繰り返す自転車運転者への自転車運転者講習の受講の義務化について、市当局・教育委員会の認識を示せ。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2野村広志	1 農業振興について	(1) 子牛価格の高騰に伴う、肥育農家等の経営安定化策について問う。	市 長
		(2) 志布志市農業公社における役割と、今後の課題と展望について問う。	市 長
		(3) 農業振興における、各種制度・交付金事業についての取り組み状況と課題について問う。 ① 多面的機能支払交付金事業 ② 機構集積協力金事業 ③ 環境保全型農業直接支払交付金事業	市 長
		(4) 農業振興における総合的な相談窓口を設置する考えはないか。	市 長
3玉垣大二郎	1 防災行政について	(1) 通山・押切海岸の侵食について問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 都城志布志高規格道路建設における代替道路の建設計画の状況について問う。 (2) 市道の管理について問う。 ① 中央線・外側線について ② 街路樹について	市 長 市 長
4平野栄作	1 市道の維持管理並びに整備について	(1) 平成24年9月定例会において、橋梁長寿命化と景観対策について質問したが、その後の対応を問う。 ① 橋梁上の日常管理計画及び実施状況並びに橋梁前後における市道環境整備計画と実施状況。 (2) 蓬原開田等未舗装となっている市道があるが、今後の整備の方向性について問う。	市 長 市 長
	2 防災行政について	(1) 平成23年12月定例会においても質問したが、以下の点についての進捗状況を問う。 ① 消防団へ配備されている機材器具類は順次更新が計画されていると考えるが、車両を除く備品等は今後どのように整備していく考えか。 ② 機能別消防団設置について、情報収集及び調査をしたいという回答であったが、その後の取り組み状況は。 (2) 自主防災組織の育成と機材整備については、昨年から3ヶ年間の補助事業を実施しているが、現時点での組織率の状況と、今後の組織活性化・定着化に向けた取り組みを問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5小辻一海	1 国民体育大会について	(1) 第75回国体で本市は成年男子サッカー会場になっているが、現在の取り組み状況と今後の準備運営について問う。 (2) 選手の皆さんに満足していただく会場として、陸上競技場、しおかぜ公園の芝生、施設面等の整備について問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 環境行政について	(1) 生物多様性基本法第13条で、市町村は「生物多様性地域戦略」を定めるよう努めなければならないと規定されているが、本市の生物多様性についての考えと策定に向けた取り組みについて問う。 (2) 外来植物メリケントキンソウの取り組みの現状と進捗状況について問う。	市 長 市 長 教育委員長
6八代 誠	1 港湾及び道路の整備について	(1) 志布志港湾の整備・拡充について、今後の方向性と取り組みを問う。 (2) 東九州自動車道及び都城志布志高規格道路の現状について問う。	市 長 市 長
	7持留忠義	1 畜産振興について 2 茶業振興について	(1) 肉用牛の増頭対策について問う。 (2) 肥育牛農家の現状について問う。 (1) 現在の経営状況と、今後の課題と対策について問う。
8東 宏二	1 環境行政について	(1) 旧志布志町、松山町、有明町の旧ゴミ処分場は、使用しなくなって長年になる。土壌調査や害虫調査をしたことがあるか。また、今後する考えがあるのか。	市 長
	2 観光行政について	(1) 大隅地域の観光開発の一環として、種子島・屋久島へ試験的な高速船の運航はできないか。また、関係機関と協議をする考えはないか。	市 長
	3 枇榔島の栈橋について	(1) 長年栈橋が破損している。島に栈橋が必要だという声が多くなった。船が接岸できる簡単なものは考えられないか。	市 長
9小園義行	1 政治姿勢について	(1) 国会で議論されている「平和安全法制関連法案」についてどう考えるか。 (2) 志布志事件の県への謝罪要求について、どう検討されたのか。 (3) 本庁舎在り方検討委員会の議論は、どこまで進んでいるか。	市 長 市 長 市 長
	2 マイナンバー制度について	(1) 実施に向けての体制は十分か。	市 長
	3 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 期末手当の支給については、どう検討されたのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 小園 義行	4 学校教育について	(1) 子育て支援の立場から、多子世帯の給食費を軽減する考えはないか。	市 長 教育委員長
	5 男女共同参画について	(1) 県の教育総合会議での知事の発言についてどう考えるか。	市 長 教育委員長
10 鶴迫 京子	1 観光行政について	(1) 市長の施政方針で、「観光物産の振興については、観光振興計画に基づき、見る観光から訪れる人を喜んで迎えて、文化、歴史、自然に触れてもらい、市民と交流しながら共に喜べるような観光を目指し、ふれあい交流のおもてなしを行います。」とある。おもてなしについての認識を問う。	市 長
		(2) おもてなしの一環として、公共施設に自動給茶機を設置して志布志のお茶を使用し、PRをもっと積極的にできないか。また、給茶機の設置の現状は。	市 長
		(3) 行政視察など市内外からの研修や、各種会合でのおもてなしの現状は。使用しているお茶やお菓子類は志布志産のものか。	市 長
		(4) 「茶いっぺのまち志布志」と称し、商店等に、市内外を問わず訪れた方々へ、どこでも茶一杯の歓迎ができるよう、お茶購入に一部補助をして、市全体で志布志のリーフ茶のPR運動を積極的に推進するべきであると思うがどうか。	市 長
		(5) 本市のおもてなしを担って活躍しているボランティアグループである観光ガイドのこれまでの活動状況と、成果は。また、これから鹿児島国民体育大会、東京オリンピック、パラリンピックとあるが、市としての対応と観光ガイドの役割をどのように考えているか。間近にせまった国民文化祭への対応も含めて、考え方を問う。	市 長
		(6) 観光ガイドの養成ということで、種子島の鉄砲館では、こどもの観光ガイドが活躍していたが、本市でも小・中・高校生など公募して養成講座を設け、導入する考えはないか。	市 長 教育委員長
		(7) 「花いっぺのまち志布志」と称して、本市の市道・県道沿いの街路に四季折々の花を植えて、花いっぱい癒しとやすらぎの協奏するまち志布志を表現し、志のあるおもてなしの姿を示すべきと思うがどうか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 志布志市まち・ひと・しごと“こころざし創生戦略”について	(1) 地方では、進学や就職を機に転出する人が転入者を上回る社会減が、人口減少に拍車を掛けており、いかに社会減を食い止め、人を呼び込むかが問われている。本市ではこの課題に今後、どのように取り組むのか。 (2) 地方創生のポイントは、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることにある。本市では若い世代の経済的安定や、結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援を今後、どのように推進するのか。	市 長 市 長
	2 市道の安全対策について	(1) 市道昭和・弓場ヶ尾線と市道上町線の交差する地点は、見晴らしが悪いうえに信号もなく、極めて危険である。市は、危険回避のためにこれまで警察とどのような協議をしてきたのか。	市 長
	3 市営住宅の入居要件について	(1) 市営住宅の入居申し込みの際、連帯保証人をつけることを義務づけているが、最近では、連帯保証人を確保することが困難な時代状況にある。現状を踏まえた、緩和措置を講ずるべきではないか。	市 長
	4 道徳教育について	(1) 文部科学省は本年3月、特別な教科として格上げする小中学校の道徳について新たな学習指導要領を告示した。本市ではこのような動向をどのように認識し、学校全体の道徳教育の要となる道徳の時間の充実を図るのか。	市 長 教育委員長
2 野村広志	1 福祉・保健行政について	(1) 認知症の現状について (2) 認知症への理解と普及・啓発について (3) 認知症の容態に応じた体制整備について (4) 認知症の方と、それを介護する方に対する支援について	市 長 市 長 教育委員長 市 長 市 長
	2 市民が安心・安全に暮らせる環境づくりについて	(1) 街灯、防犯灯の管理状況と、防犯上危険箇所の把握状況について ① 現状について ② 設置計画及び修繕計画について ③ GIS情報による管理体制について ④ 街灯、防犯灯のLED化について (2) 防犯カメラ設置について ① 現状について ② 課題と今後の設置計画について	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年12月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 青山浩二	1 人口増対策の取り組みについて	(1) 定住促進住宅用地確保について	市 長
	2 税外収入について	(1) 市の財源確保のため、公共施設の命名権売却（ネーミングライツ）の導入に対する考え方について問う。	市 長 教育委員長
4 八代 誠	1 農業振興について	(1) 茶業振興について、茶業農家に関わる降灰対策の水利用の現状と、今後の課題について問う。	市 長
		(2) 大筋合意した環太平洋連携協定（TPP）を受け、政府では大綱が決定し、大幅な国の予算増が予想される。農林水産業対策費を受けて、本市の農林水産業に対するインフラ整備をはじめとする対策について問う。	市 長
5 平野栄作	1 指定管理者制度について	(1) 平成19年度から導入されているが、具体的にどのような効果があったのかを示せ。	市 長 教育委員長
		(2) 次回から指定管理の期間が5年間に延長されることになるが、事業の評価方法についての考え方を示せ。	市 長 教育委員長
		(3) 利用者の利便性向上や更なる利用率アップを目指すためには、管理者のスキルアップと類似施設管理者間の連携が必要だと考えるが、この点について今後の方向性及び考え方を示せ。	市 長 教育委員長
		(4) 施設や備品類の老朽化が大きな課題であるが、長期的な修繕や改修及び更新計画を指定管理者側に示した上で今回の指定に至っているのか。	市 長 教育委員長
		(5) 委託料を積算する際に、必要経費の算定が必要となると思うが、地域住民からの声も反映させた内容（住宅隣接部の維持管理）となっているのか。	市 長 教育委員長
6 小園義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況を問う。	市 長
	2 マイナンバー法について	(1) 通知カードの配布が進んでいるが、住民には正しく理解されているとは思えない。今後の対応を問う。	市 長
	3 課設置条例について	(1) 今回、農政畜産課を設置するとの提案だが、TPP等対応は十分できると考えるか。	市 長
	4 道路行政について	(1) 県道の改修等の、県との対応について問う。 (2) 志布志町大性院地区の改修について、県と具体的な交渉が進んでいるのか。	市 長 市 長
	5 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 一時金の支給や、時給の見直しについて考えを問う。	市 長
	6 商業振興について	(1) 「地方版総合戦略策定」にあたって、中小商工業者の声を今後どう反映させていくのか。	市 長